

2024-2025 青森中央高校 あおもり探究プロジェクト一覧

PBL	小分野	想定される方向性および先行実施事例
地域ねぶた	観光	青森市の各集落・町内会で行われている地域ねぶた。2019年段階で61あった団体が今年39団体まで減少し、その存続が危ぶまれている。この背景には高齢化・人口減少といった、本県の課題がある。この「地域ねぶた」を入り口として、小分野「観光」「自然環境」「いのち生活」「産業ビジネス」と掛け合わせ、高校生がこの問題を自分事ととらえ、地域や産業と連携し、社会的役割を担いながら課題を焦点化していく。先行的な取り組みとして「高校生地域ねぶた協力隊」を結成し、「横内秋ねぶた」の企画運営、運行に委員として参画した。
	自然環境	
	いのち生活	
	産業ビジネス	
食のテキスト	観光	「食のテキスト」とは、地元特産の農作物・水産物についてその伝統・栄養価・レシピ・収穫量・時期・栽培地域・加工品など、その食材についてのあらゆる情報を網羅して1枚シートにまとめたもの。おもに自治体や地域の団体が作成しているものであるが、これを高校生の力で情報収集・整理分析・まとめを行い、最終的に「あおもり食のテキスト大百科(仮)」をまとめる。媒体としては「note」で公開することを想定している。先行実施事例として「おにぎりプロジェクト」があり、地元産品を具材にした新たな発想でのおにぎり開発に励んでいる。
	自然環境	
	いのち生活	
	産業ビジネス	
クマ問題と生活文化	観光	全国的にクマの食害や生活圏域への出没・被害が多発している。この背景には、里山の荒れ・林業の衰退、空き家や耕作放棄地の増加といった社会問題・産業問題が存在する。人間生活の構造変化が野生動物の行動範囲の拡大と変容を引き起こしているのだ。この問題解決のために、高校生が自分事としてとらえ貢献できることを考える。
	自然環境	
	いのち生活	
	産業ビジネス	

※1年次「産業社会と人間」2学期後半からテーマ設定を行い、来年度「総合的な探究の時間(あすなろ学Ⅰ)」へつなげていく。



ねぶた配線作業



おにぎり試作



卸売市場でのフィールドワーク